

第29回中部選手権大会開催

【安定感、完成度の高い演技の連続で観客とも一体となった魅力溢れる大会に】

6月30日、前日の晴れ間はつかの間、再び梅雨空となった愛知県で第29回中部チアリーディング選手権大会が開催された。会場となったポートメッセなごやは、中京圏に新たにできた世界規模の展示場で、中部選手権としては初めての会場。最寄り駅、駐車場からのアクセスがよく、大勢の観客が観戦に詰めかけていた。

今大会、全体的にどのチームも演技が安定しており、完成度が高いことが非常に好印象だった。観客も選手の熱い演技に応じて、大会スケジュールが進むたびに会場全体が熱を帯び一体感が増していくようだった。

【主な大会結果】

自由演技競技 総合優勝 愛知工業大学名電高等学校（高等学校の部）

規定演技競技 総合第一位 中京大学（大学の部）



総合優勝 愛知工業大学名電高等学校

自由演技競技 中学校の部

愛知三河チアリーディングクラブが規定演技、自由演技ともに第1位となり JAPAN CUP への出場権を獲得した。競技規則上、1チームの最大人数は16名と定められている中、愛知三河は13名での出場。少人数での演技構成となるため、実施できる技の数には制限が出てきてしまう中、完成度の高い、キレのある演技を披露した。

また、一宮チアリーディングクラブ（愛知県）は規定演技で愛知三河に0.5点と迫る奮闘を見せ、フライデートーナメントへの出場権を獲得した。今大会では惜しくも安全規則違反による減点があったため、JAPAN CUP での修正を期待したい。

自由演技競技 中学校ユースの部

今年度からスタートした中学校ユースの部では、ENS チアリーディングクラブ（静岡県）が第1位となり、規定の得点をクリアし JAPAN CUP 出場権を獲得した。ENS は小学校低学年・小学校高学年・小学校高学年ユースの部にも出場し、低学年・高学年ユースでは第1位を獲得。総部2019年と比較的新しいチームではあるが、過去の JAPAN CUP では小学校低学年部門で優勝経験もあるジュニアの強豪チームのひとつである。今年の JAPAN CUP には4部門に出場予定。今年の活躍が期待できる。



愛知三河チアリーディングクラブ



ENS チアリーディングクラブ

自由演技競技 高等学校の部

愛知工業大名電高が自由演技において大学・社会人チームを上回る得点を獲得し、総合優勝を飾り、JAPAN CUP の出場権を獲得した。

愛知工業大名電高は昨年の JAPAN CUP 準決勝で安全規則違反が課され13位。上位12位までが進出できる決勝への切符をわずか0.5点差で手にすることができなかった。今年はどうのような演技を見せてくれるのか、楽しみなチームである。

一方、昨年 JAPAN CUP 決勝の切符を手にした聖霊高（愛知県）は総合3位、今大会総合第2位の清林館高（愛知県）は昨年大会3位から順位をあげ、初めて JAPAN CUP への出場権を獲得した。

フライデートーナメント出場権を獲得したのは、中部大春日丘高（愛知県）・愛知三河・中京大中京高（愛知県）・豊川高（愛知県）。

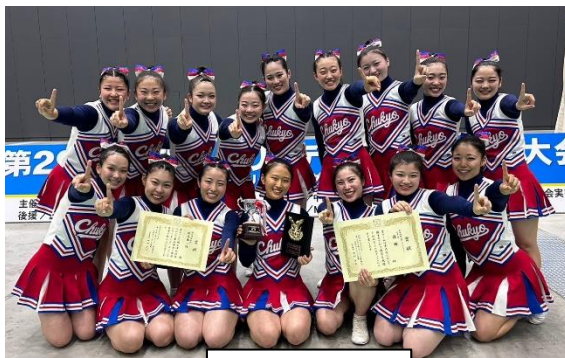
自由演技競技 大学の部

中京大（愛知県）が規定演技競技で総合第一位を獲得。名城大（愛知県）とともに、JAPAN CUP 出場権を獲得した。フライデートーナメント出場権を獲得したのは、愛知淑徳大と愛知学院大。愛知淑徳大は、昨年の JAPAN CUP では安定感のある確実な演技を実施し第5位に入っている。今後の巻き返しに期待したい。

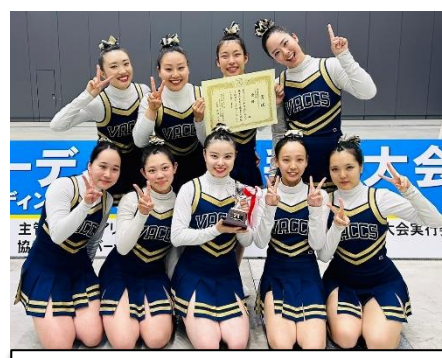
自由演技競技 社会人の部

中部チアリーディングクラブ（愛知県）が少ない人数ながらも安定した演技を見せ、規定演技・自由演技ともに第1位を獲得。ここ数年、人数減少に悩まされている社会人チームだが、日頃開催されている安全技術講習会等で指導者として活躍するなど、高校生や大学生選手のお手本となる存在である。

今大会では残念ながら JAPAN CUP の出場権を獲得したチームはなかったが、何事にも精一杯、笑顔で頑張る姿を後輩たちに示し続けてほしい。



中京大学



中部チアリーディングクラブ

今大会で特筆すべきは、ジュニアチームの活躍ぶりだった。小学校低学年の部ではENSチアリーディングクラブ（静岡県）があと0.5点で200.0点に迫る高得点を獲得。その他のチームも堂々とした演技で、これからどんな活躍を見せてくれるか非常に楽しみだ。

エキシビション ジュニアスター、混成、親子ミックスを合わせると、出場選手全体の半数がジュニア層となり、今後の中部地区チアリーディング界が益々盛り上がることを予感させた。

日本チアリーディング協会主催大会では、中学校・高等学校・大学部門へ学校単位での出場だけでなく、各学年の選手で編成されたクラブチームも出場することが認められている。中学校部門ではすでに多くのジュニアチームが出場し活躍しているが、今年は初めて愛知三河が高校部門に出場し、フライデートーナメント出場権を獲得した。JAPAN CUP において、クラブチームが高校部門に出場するのは初めてのケースとなる。

学校部活動・地域スポーツクラブを含め、今後、多様な形での活動が活発となってくると思うが、中部地区からたくさんのチアリーダーたちが活躍することを期待したい。

本サイトの記事、写真の転載はご遠慮ください。無許可の転載・複製は法律により罰せられます。

Unauthorized reproduction or duplication is punishable by law.